

大学名：北翔大学

住所：北海道江別市文京台 23

電話番号：011-387-8011 (代表)

養成開始：2007年度



北翔大学
北方圏生涯スポーツ研究センター



体力測定会の様子

健康運動指導士養成における我が大学の方針、目的や目指す方向性等

北翔大学生涯スポーツ学部は、北海道初の健康運動指導士養成校として、市町村職員や医療機関、福祉施設、保健センターや民間スポーツクラブなど様々な分野へ健康運動指導士を輩出しています。北海道のように広大な地域では、運動指導の資質だけではなく、さまざまな分野の専門家と連携していく能力が求められます。

健康運動指導士の養成方法やその特徴

本学部スポーツ教育学科に入学した学生は、2年次に「スポーツ教育コース」「スポーツトレーナーコース」「競技スポーツコース」の3つのコースから希望する進路により選択し、健康運動指導士を目指す学生は「スポーツトレーナーコース」を選択します。3年次には「体力測定評価演習」で、多数の地域で実施する体力測定会に出向き、高齢者に対する体力測定の実践を通じて、健康運動指導士の仕事や他職種との連携、地域の健康課題に直接触れる機会を得ます。4年次には「健康産業施設実習」で、学内にある総合型地域スポーツクラブや地域の運動教室に参加し、健康運動指導士としての役割を学びます。試験に向けた対策講座や合格後にも「健康運動指導士対象新社会人研修」を実施し、実践力のある健康運動指導士の社会への輩出を行っています。

我が大学の魅力・PRポイント

過疎化する地方の自治体が抱える課題を健康づくりの視点で解決するために、7年前から地方自治体や企業（コープさっぽろ）、NPO法人（ソーシャルビジネス推進センター）と連携して「地域まるごと元気アッププログラム」という地域貢献事業に取り組んでいます。これまでに、本学で資格取得した健康運動指導士が10名コープさっぽろに雇用され、NPO法人に出向し、地方自治体が主催する運動教室の指導を担っています。学生は、「体力測定評価演習」や「健康産業施設実習」の実習先として位置付けられているこの事業を体験し、社会福祉士や地域保健師などの専門家と連携する健康運動指導士の存在価値を改めて感じています。

その他（今後取り組みたいこと等）

北海道の抱える過疎や少子高齢化からもたらされる健康課題に対して、健康運動指導士の社会的ニーズは高くなってきているにも関わらず、入学直後は、健康運動指導士としての進路を希望する学生は多くなく、社会的認知度の低さを実感しています。これまで70余名輩出した、地域で活躍する卒業生の健康運動指導士とも連携し、社会的認知度の向上を目指していきます。